

河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

思川だより

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

所長 新任挨拶

独立行政法人水資源機構

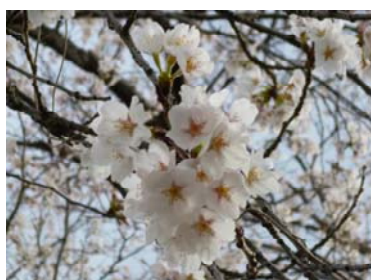
思川開発建設所長 伊藤 邦展

この度、4月1日付けで、思川開発建設所長として着任いたしました伊藤でございます。皆様方におかれましては、思川開発事業につきまして、日頃より格別のご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当事業は、思川支川の南摩川に多目的ダムとして南摩ダムを建設し洪水調節を行い、南摩川、思川、利根川の中・下流地域の洪水被害を軽減し、また、南摩ダムと黒川、大芦川とを導水路で連絡し、河川間で水の融通を行うことで、南摩川等の既得取水の安定化及び河川環境保全等のための河川流量の確保と新たに水道用水を確保するものです。

当事業の実施にあたり、移転をしていただくことが必要となった80戸全ての皆様には既に移転していただき、また、事業に必要な用地も全体の約98%を既に取得させていただいております。永年にわたり住み慣れたお住まいを移転していただいた皆様、大切な土地をお譲りいただいた地権者の皆様のご理解・ご協力について、改めまして厚く御礼申し上げます。

ところで、当事業は、いわゆる「ダム検証」の対象となっておりますことから、検証を行っている間は、事業の現在の段階を維持することとなっております。このため、現在は、地元の皆様の生活に関連する付替県道工事の一部について、地元関係者の皆様、鹿沼市、栃木県などの関係の皆様のご協力を得て、進捗させていただいている状況です。このダム検証につきましては、関係機関と連携しつつ、出来る限り速やかに結論が得られるよう努力してまいりたいと考えております。



私にとりまして、思川開発・南摩ダムは、5つ目のロックフィルダム建設の現場となります。これまでの経験を生かしつつ、日々の課題に取り組んで参りたいと思います。

引き続き、地域の皆様、関係者の皆様のご理解・ご協力に支えられながら、職員一同、一步一步事業に取り組んでまいりますので、引き続き、ご支援を賜りますよう宜しくお願いいたします。



付替県道工事の進捗状況報告(県道上久我栃木線)

杓子沢工区他整備工事、粟沢7工区工事が進んでいます

現在、思川開発建設所では、県道上久我栃木線の付替工事について、杓子沢地内から中村地区までの区間で「付替県道杓子沢工区他整備工事」を、粟沢地内で「付替県道粟沢7工区工事」を行っています。

前号でご紹介した「付替県道杓子沢工区他整備工事」では、道路舗装及び山側法面のコンクリートブロック擁壁の築造が概ね完了し、道路の排水構造物、区画線、ガードレールの設置などの仕上げ工事を行っています。

また、第42号でご紹介した「付替県道粟沢7工区工事」では、山の切土工事を行っています。

これらの工事を含めて、当建設所が行う全ての工事において、地域の皆様にご迷惑をかけない様、工事に関係する車両の道路通行時におけるマナーの向上に努めるよう指導を行っています。

工事期間中、何かとご不便をおかけするかとと思いますが、何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。



【粟沢地内 山の切土工事】



【杓子沢地区の道路舗装及びブロック擁壁築造の状況】

技術力の向上を目指して！ 付替県道工事等を見学

栃木県建設技術協会現場講習会

去る1月30日に栃木県建設技術協会鹿沼分会に所属の20名の皆さんが南摩ダムの貯水予定地と付替県道工事の状況を視察されました。この視察は、会員の技術力の向上を図るため、同協会が主催する現場講習会として、開催されたものです。

講習会では、まず、思川開発建設所にて、事業概要についての説明を行い、ダムの

基礎知識や事業内容について、理解を深めていただき、その後、付替県道の工事現場において、工事状況を視察していただきました。続いて、ダム予定地の視察を行いました。参加者の皆さんは、貯水池の予定域やダムの規模の大きさを実感されていた様でした。

今後とも、思川開発建設所では、このような取り組みにより、技術力の向上に役立てていただくとともに、皆様のご理解をいただき、事業を進めていきたいと考えております。



【現地視察の状況】

不当な要求には屈しない！！

思川開発事業関連企業等暴力団等排除対策協議会 年次通常総会を開催



【総会の様子】

思川開発建設所では、積極的に暴力的不当要求等の排除活動を実践し、事業を円滑に推進することを目的に、受注される業者各位のご協力を得て、平成21年6月に思川開発事業関連企業等暴力団等排除対策協議会を組織し、不当要求対応に対する講習の実施、講演会の開催等を行っています。

今年度も、去る3月18日、会員である水資源機構、会員業者のほか、顧問となっている鹿沼警察署、鹿沼市、栃木県鹿沼土木事務所、公益財団法人栃木県暴力追放県民センターの出席のもと、通常総会が開催されました。

総会では、今年度の活動報告が行われ、来年度の活動計画の承認、終わりに、会員代表による「積極的に不当要求に対し排除活動を実践していく」旨の決意表明が力強く行われ、会員相互一致団結して取り組んでいくことを誓い合いました。

総会終了後、栃木県暴力追放県民センターの小室専務理事から、「反社会的勢力対策の現状について」と題して、ご講演をいただき、参加者の認識を新たにしました。



【小室専務理事の講演】

決意表明

平成26年3月18日

我々「思川開発事業関連企業等暴力団等排除対策協議会」会員は、本会の目的に則り

1. 暴力団等からの「不当要求を恐れない」「不当要求に金を出さない」「不当要求に屈しない」の三ない運動を実践する
1. 暴力団等が関与する下請参入を断固拒否し、排除する
1. 会員相互の一致団結した、協力体制と関係機関との緊密な連携を確立する

以上のことを遵守し、積極的に暴力的不当要求等の排除活動を実践し、思川開発事業を円滑に推進することを、ここに表明する

職員の異動（転出及び転入のご紹介）



転出 お世話になりました。

3月20日付け	調査設計課	對馬 和孝（総合技術センターへ）
4月1日付け	所長	桜井 力（本社ダム事業本部へ）
	第一用地課長	河田 洋弥（川上ダム建設所へ）
	環境課長	佐藤 英一（旧吉野川河口堰管理所へ）
	第二用地課	福島 知巳（丹生ダム建設所へ）
	環境課	赤松 芳彦（木津川ダム総合管理所へ）
	工務課	沼尻 健一（利根導水総合事業所へ）
	工務課	高橋 隆士（長良川河口堰管理所へ）

転入 宜しくお願いします。

4月1日付け	所長	伊藤 邦展（本社ダム事業部から）
	第二用地課長	渡辺 和重（利根導水総合事業所から）
	環境課長	小野 雅人（一般財団法人水源地環境センターから）
	第一用地課	黒田 雅彦（本社財務部から）
	第二用地課	新井 心平（関東地方整備局相武国道事務所から）
	調査設計課	久保田 貴史（総合技術センターから）
	調査設計課	齋藤 拓也（両筑平野用水総合事業所から）
	環境課	山口 茂（草木ダム管理所から）
	工務課	近野 勇一（木津川ダム総合管理所から）
	工事課	長谷川 章仁（近畿地方整備局琵琶湖河川事務所から）
	総務課	木戸 菜央子（新規採用）



所内での配置換え

4月1日付け	第一用地課長	杉田 康司（第二用地課長から）
	第二用地課	岩原 典和（第一用地課から）
	工務課	竹内 祐治（調査設計課から）
	工務課	佐瀬 勝亮（工事課から）
	工事課	大熊 清和（工務課から）



編集後記

桜の花が咲く便りも聞かれる頃、4月期の人事異動の時期を迎えました。
当思川開発建設所でも、皆様にお世話になった8名の職員が転出し、鹿沼の地を離れることになりました。代わって、11名の職員が転入してきます。
新しい年度を迎え、前年度同様、宜しくお願いいたします。

編集・発行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

Tel (0289) 85-1110 Fax (0289) 85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.html>